

## 2024 年度現代経営学演習

担当：西谷公孝

### 演習の目的

本演習では、サステナビリティ経営、もしくは各自で関心のある経営に関する課題解決に向けた修士論文を執筆するための研究指導を行います。あるべき経営を追求するとそれはサステナビリティ経営に繋がっていくので、サステナビリティ経営だけにこだわる必要はありません。修士論文を執筆することによって、学術的な思考を通して、実務的な経営課題を解決する能力を高めることを目的とします。

### 事前課題

第1回で5分の報告をしてもらいます(下記参照)。そのための準備をしておいてください。あくまでたたき台です。これを演習で精緻化させていき修士論文に繋げていきます。

### 授業計画

第1回：2024年9月14日(土)

#### 1-2 限目

演習概要の説明や論文執筆に関する講義(学術的にものを考えるとはどういうことか、学術論文はどう書くのか)の後、自己紹介も兼ねて演習において各自が取り組みたい研究テーマについて報告(報告5分、質疑応答5分)。受講者全員はそのための報告スライドを準備してください。

#### 3-5 限目

M2の修士論文報告会(ポスターセッション)に全員参加

第2回：2024年10月12日(土) 1-4 限目

第1回で報告した研究テーマについて、研究背景や先行研究レビューの紹介(報告10分、質疑応答10分)。

#### 5 限目

MBA 修了生による講演

第3回：2024年12月7日(土) 1-5 限目

第4回：2025年2月5日(土) 1-5 限目

第1回、第2回の内容をベースに、研究する価値の有無や実現可能性も含めて、問題(リサーチクエスション)の提起、どういった研究を行うべきか、またそのためにどういった分析手法を用いるべきなのかの討議(報告15分、質疑応答15分)。

## メッセージ

経営に関わる課題を学術的な視点から見ることによって、その解決のためにモノの見方を変える、ものさしの尺度を伸ばすことを意識してください。またその能力を高めるためには、ゼミでの討議にも積極的に参加してください。なお、自分の会社にとってのみ嬉しいことを見つける（きっかけはそれでも良いです）ことが（修士）論文に求められていることではありません。他の企業や社会にとっても嬉しい（普遍化、一般化できる課題でありかつ結果として個別にも嬉しい）ことに注意を払ってください。